

ありがとう！大山みんな応援券事業

新型コロナウイルス禍で落ち込んだ消費の喚起をはかり、全町民へ1人1万円（75歳以上の単身者には5000円上乗せ）の商品券を配布する総額は1億7000万円の大きな支援対策事業に多くの質疑が交わされ、全会一致で可決した。

人件費が必要か

〔大森議員〕約1億7000万円の大きな事業だが、なぜ人件費が含まれるか、職員でまかなえないか。

〔企画課長〕会計年度任用職員（パート）4人、5日分の給料で、期日が限られ一般職員だけでは間に合わないため。

換金の対応

〔加藤議員〕飲食店が苦しい状況で有効な施策だ。事業者は早く換金したいが、その期日は。

〔企画課長〕各事業所でまとめられた商品券は、8月1日から役場で随時換金の受け付けを開始する。

上乗せ配布

〔岡田議員〕リフォーム券はどんな工事を想定しているか。一人親世帯への配布はしないか。

〔企画課長〕リフォームは建具や水回りなどは別の支援策を考えた。

商工振興と生活支援

〔西尾議員〕県内では50%プレミアム券の支援がある。本町は負担なしで1万円配布、これがベストという考えか。

〔企画課長〕商工振興としてはプレミアム券も考えられるが、生活支援という意味を込めた施策である。

登録の方法

〔森本議員〕町内の店が対象だが、申請方法と商工会未加入店の対応は。

〔企画課長〕書類申請となり、加入未加入に関係なく受け付ける。

効果の検討

〔近藤議員〕費用対効果を考えると50%プレミアム券にして、残りを非課税世帯や一人親世帯などに手厚くできたのではないか。

〔企画課長〕プレミアム券は購入してからになり、枠が読めない全町民の使用が目的である。

個人事業者の登録

〔門脇議員〕町外事業所に従事する大工・左官さんがいるが、個人として申請できるか。

〔企画課長〕町民が個人事業者としてやっていけば受け付ける。



全町民に配布される「応援券」